

-2019年4月30日-

対象期間2018年5月1日～2019年4月30日

1. 事業の概要

1/4

- (1) 事業者及び代表者
共同電気工事株式会社
代表取締役 今井 勝利
- 建設業の許可番号
知事般一30 第 149786 号
- (2) 所在地
東京都目黒区大岡山1-4-10高正大岡山ハイツ102
- (3) 環境管理責任者及び連絡先
環境管理責任者 今井 勝利
連絡先 電話 03-5731-7241
FAX 03-5731-7242
Email k4771@ch.mbn.or.jp
- (4) 事業の内容
電気工事及び電気材料販売
- (5) 事業の規模
売上高 年間 12,909万円 (昨年売上9,160万円)
従業員数 4名
事務所面積 70平方メートル

2. 環境方針

環境理念

共同電気工事会社は、かけがえのない地球環境の保全が、企業経営の重要課題のひとつであると考え、持続可能な循環型社会形成に寄与できる事業活動を目指します。

基本方針

1. 販売する材料、製品はすべて地球環境の保全に役立つものであり、国内外の環境規制、その他の法令に準拠し、有害化学物質の使用禁止および削減をメーカーと共に推進します。
2. 環境関連法令(および当社が同意した各種協定)を遵守します。
3. 資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を常に認識し、3R、グリーン購入に取り組みます。
4. 業務の遂行に当たって、環境保全に関する目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組みます。
5. 業務活動において、環境方針を周知徹底し、環境教育、環境保全活動の定着、向上に努め、環境行動計画およびその実施状況ならびに環境関連情報を「環境行動レポート」に取りまとめ公表します。
6. 電気工事に於いてはエコケーブル(ケーブル全体の35%)・LED照明器具(照明全体の100%) 人感センサー(工事全体の50%)を推奨します。
7. 納品用ダンボール再利用ダンボール使用します。
8. 車両アイドリングストップ、エコ運転でガソリン消費量を抑えます。

-2019年4月30日-

共同電気工事株式会社
代表取締役 今井 勝利

当社における二酸化炭素排出量、コピー用紙使用量及び水使用量の実績は下記のとおりです。二酸化炭素排出量は、燃料(輸送車ガソリン)及び電力の使用量に基づいて算定しました。コピー用紙以外の新聞紙は梱包材で再利用、カタログ・ダンボール箱毎週木曜日の資源ごみ回収へ出し、ごみ量減少今後も資源ごみの分別を実施します。

年度	2014	2015	2016	2017	2018
二酸化炭素排出量(kg-CO2) (電力・ガソリン使用量)	4298	4608	4174	4314	7916
コピー用紙使用量(kg)	400	400	400	400	500
水使用量(t)	53	53	53	56	50

4. 環境への負荷低減の目標・実績

当社における二酸化炭素排出量、コピー用紙使用量及び水使用量の目標と実績は下記のとおりです。

年度	2018	2018	2019	中長期目標
	目標	実績	目標	(2021P年目標設定)
二酸化炭素排出量(kg-CO2) (電力・ガソリン)	5008 原単位 (0.33 kg/万円)	7916 原単位 (0.61 kg/万円)	7520 原単位 (0.42 kg/万円)	2019年度比 -4% (原単位)
電力使用量(kWh)	3882	7370	7001	
ガソリン使用量(L)	1520	2200	2090	
コピー用紙使用量(kg)	500 原単位 (0.033 kg/万円)	500 原単位 (0.039 kg/万円)	500 原単位 (0.028 kg/万円)	2019年度比 -4% (原単位)
水使用量(t)	53 原単位 (0.0035 t/万円)	50 原単位 (0.0039t/万円)	53 原単位 (0.029 t/万円)	2019年度比 -4% (原単位)
顧客に省エネ機器の推奨	エコカーブル	全体の35%	全体の35%	全体の35%
	LED照明器具	全体の100%	全体の100%	全体の100%
	人感センサー	全体の50%	全体の55%	全体の50%
売上(万円)	15000	12909	18000	---

購入電力の排出係数 2004年東京電力排出係数 0.381kg-CO2

- ① 2019年度は2018年度に比べ、売上高は増加を予想、目標は、二酸化炭素排出量総量で増加、原単位で減少の目標とした。
- ② コピー用紙使用量は総量で同じ、原単位で減少の目標とした。
コピー用紙以外の新聞紙は梱包材で再利用、カタログ・ダンボール箱毎週木曜日の資源ごみ回収へ出し、ごみ量減少今後も資源ごみの分別を実施する。
- ③ 水使用量は、総量は増加、原単位で減少の目標とした。
- ④ 塗料、接着剤等の化学物質については、ISO14001を認証登録している元請の指示通り実施するので目標として取り上げないが、使用等の取り扱いを適正に行う。
- ⑤ 工事に使う資材等は元請の指示に従うので、グリーン購入の主なもの文具類に限られ、量的に少ないので、購入時、環境にやさしいものを購入するようにするが、目標としては取り上げない。

5. 環境負荷低減のための具体的取り組み

(1) 二酸化炭素排出量低減のため、電力使用量の節減を重要課題とします。

- ① 昼休みの照明の消灯
- ② エアコン使用時の温度設定
夏は、28度C以上、冬は、20度C以下に実施しています。
- ③ 使用しない電気機器はコンセントプラグを抜きます。
- ④ 省エネタイプのOA機器を使用します。
- ⑤ 照明用使用ランプは、消費電力が少ないタイプを使用します。

- (2) ガソリン使用量の低減
 ① エコドライブ10のすすめの実施
 ② 公共交通の利用
- (3) 水使用量の低減
 ① 最大流量を抑制することによって節水に努めます。
 ② 水使用時の流しっぱなしを抑制し、常に節水に心がけます。
- (4) 資源使用量の低減のため、コピー用紙の節減を重点課題とします。
 ① 使用済み用紙の裏紙を活用します。
 ② 判読可能なA3資料のコピーはA4に縮小します。
 ③ 不要になった書類の余白、裏紙をメモ用紙に活用します。
 ④ パソコンのファイルを活用し、印刷物を減らします。
- (5) 廃棄物の削減の為ごみ処理券の記録管理をおこないます。

6. 共同電気工事(株)関連法規制遵守状況一覧

法環境法規等	適用(要求)内容		遵守状況の評価	
廃棄物及び清掃に関する法律	産業廃棄物	プラスチック、金属：委託	元請けに委託	◎
目黒区新しいごみと資源の分け方・出し方	一般廃棄物	生活ごみの排出：委託	目黒区	◎
家電リサイクル法	業務用、または顧客の家電リサイクル対象物件についての取扱い		実績無し	—
自動車リサイクル法	自社業務用自動車の取扱い		2014/3入替時業者委託	◎
RoHS指令	電気・電子機器に対する特定有害物質の使用制限に関するEUの指令 得意先要求があった場合、メーカーから特定の化学物質含有情報シートを取得し得意先に提出		実績無し	—
グリーン購入	オフィス用品、事務用品			◎
容器包装リサイクル法	再利用ダンボール			◎

環境法規法の遵守状況は以上の通りでした。

(1) 環境レポートの公表

この環境レポートは、『エコアクション21』中央事務局のホームページに公開します。

(2) 関係法令の遵守

現在まで、過去3年間を通じて、当社は法令違反事項は皆無です。
今後も、事業に関連する法令の新設・改訂に注目し、必ず法令を順守します。
事業実施に伴うお客様からの苦情等ありません。

(3) 代表者による評価と見直し・今後の取組

少数の職場環境の利点を生かし、社長による環境活動の点検、評価、見直しを
2019年4月30日実施しました。

2018年度は2017年度に比べ二酸化炭素排出量は増加しました。(ガソリン使用量増加・電力使用量増加)
コピー使用量は増加、水使用量は同じでした。
売上は前年度比141%で、原単位に於いては二酸化炭素排出量は増加、コピー使用量、水使用量とも減少しまし
納入しているLED照明は全体の100%でした。
工事に使用しているLED照明は全体の100%でした。
2018年度は、売上高アップ(1,800万円)と見込み、環境負荷は総量増加、原単位で減少の計画としました。
今後も資源ごみの分別を続けごみ量減少に努めます。
今年度も顧客に対しても省エネ機器の購入等、環境負荷低減に役立つ
機器の利用等を推奨します。
下請けにまわす電気工事から自社で行う電気工事へ変更した為車両台数、車の使用頻度が増えた為
ガソリン使用料が増たので使用料削減の体制づくりに取り組みます。
EA21マニュアルの活動に変更する事項はありません。